

第6章 学び合い、育ち合い、文化を伝えるまち(教育・文化)

第1節 世代を超えて学び合うまち

1. 学校教育

(現状と課題)

本市では、「本巢市教育基本計画」に基づき、「知・徳・体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり」、「園・学校、家庭及び地域の連携による一貫した教育環境づくり」、「安心して学ぶことができる環境づくり」を柱に学校教育を進めています。

市内に8つの小学校と4つの中学校があり、各学校では、キャリア教育^{*}やふるさと学習など、地域と連携した教育活動を積極的に展開してきました。児童・生徒数やそれぞれの学校を取り巻く環境が大きく異なり、地域の特色を活かした教育活動と併せて、等しく学ぶことができる環境づくりも重要です。

また、園と学校、家庭、地域とが連携し、相互に補完しながら子どもたちの健全な教育に努めるとともに、仲間との集団生活を通して社会性やコミュニケーション能力を身につけることが重要です。

■小中学校の児童数の推移

単位：人・学級数

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
小学校児童数	2,209	2,243	2,276	2,270	2,269
小学校学級数	88	88	89	88	90
中学校生徒数	1,071	1,043	1,085	1,062	1,101
中学校学級数	37	37	38	38	41

資料：学校教育課



^{*}キャリア教育…子どもたちが、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育むことを目指す教育。

〔施策の基本方針〕

各小中学校において、地域の特色を活かした学校教育を推進し、いずれの学校においても自主性を高め、学力向上、健全な心身づくりの機会を確保するため、市内小中学校で相互の交流を深め、充実した学校生活を提供します。

学校同士だけでなく、幼稚園及び小中学校が一貫した教育指導を行うとともに、学校の教育活動を積極的に地域へ公開し、地域の理解と協力を得ながら、地域の特性を生かした教育を推進します。

また、いじめの未然防止や学校施設の整備、放課後子ども教室（チャレンジクラブ）の充実など、安心して子どもたちが学べる環境づくりに努めます。

〔主要施策と主な事業〕

（1）知・徳・体の調和がとれ、自己実現を目指す自立した人づくりを推進します

- 学校ICTの活用など、確かな学力の向上に努めます。
- 生活習慣などの定着を図り、心と体の健やかな発達を促進します。
- 児童会・生徒会活動など、子どもの自主的、実践的活動を支援します。
- 個のニーズに応じた特別支援教育を推進します。
- 教師力の向上を図るため、教職員の研修の充実に取り組みます。

■主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○学校ICT活用事業 ○「ふるさとの食材」を活用した食育推進事業 ○児童会・生徒会サミット ○特別支援教育に対する事例研修事業 ○リーダー教員養成研修事業
--------------	---

（2）園や学校、家庭、地域との連携による一貫した教育環境づくりを推進します

- 園や学校、家庭、地域の連携強化に取り組むとともに、ふるさと学習の充実・推進に努めます。
- 総合的な学習の時間などを中心にキャリア教育の充実にも努めます。
- 地域ぐるみで子どもの自主的な活動を援助します。
- 子どもの安全・安心の確保に努めます。

■主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○園評価、学校評価事業 ○学校教育活動の積極的な公開 ○自然や文化財などを活用したふるさと学習事業 ○キャリア教育の指導構想構築支援事業 ○1家庭1ボランティア事業 ○MSJなどボランティア活動支援事業 ○「命を守る教育」推進事業 ○緊急メール活用事業
--------------	---

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
ふるさと学習参加者数	4,682人/年	5,500人/年	
学力向上サポーター数	28人	45人	累 計

(3) 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくりを推進します

- 子どもが安心して、快適に学べる園・学校づくりに努めます。
- 個のニーズに応じた学習支援、教育相談に努めます。
- 特別支援教育体制の充実に取り組みます。
- 園や学校の施設・設備、備品を整備・充実します。
- 社会の変化に対応した教育環境を整備します。
- 放課後子ども教室（チャレンジクラブ）では、スポーツや文化などの様々な体験活動や地域住民との交流活動を推進します。

■主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめなどに関するアンケート事業 ○いじめ、不登校問題等対策会議 ○全小中学校への教育相談員、学習支援員、生活支援員配置事業 ○学校施設のバリアフリー化事業 ○学校施設長寿命化計画策定事業 ○放課後子ども教室事業（放課後チャレンジ教室）の拡大
--------------	---

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
小中学校不登校者率	1.3%	1.2%	不登校者数/小中学校児童、生徒数



2. 生涯学習

〔現状と課題〕

生涯学習は、誰でも自由に学習でき、その成果を活かすことができる社会づくりを目指しています。したがって、ボランティア、地域活動、キャリアといった学習成果を生かす機会をつくり、学習意欲を一層高めていく必要があります。

本市では、生涯にわたって学習機会を提供できるよう地域の公民館を中心として各種講座・教室などを開催していますが、市民のニーズは多様化しているため、対応が求められています。

また、図書館ではボランティアによる活動が行われていますが、生涯学習全般にわたってボランティアの活動を活発にしていくことが望まれます。

市民一人ひとりが充実した心豊かな生活を送り、相互に連帯意識に結ばれた生きがいと活力あるまちづくりを推進するため、生涯学習活動における環境整備を図る必要があります。

■公民館講座・教室の状況（上位10） 単位：人

講座・教室名（上位10）	H26年度
ことぶき大学	1,859
本巣大学校	486
糸貫チャレンジソフトテニス	283
料理教室	261
パソコン講座（エクセル）	150
パソコン講座（ワード）	139
にこにこ夢講座（英語②）	136
にこにこ夢講座（英語①）	113
木工工作	75
にこにこ夢講座（英語③）	62

資料：社会教育課

〔施策の基本方針〕

生涯学習において多様化する市民ニーズに応えるよう努めます。また、生涯を通じて主体的に学ぶことができるよう幅広い生涯学習機会を提供します。

そして、市民それぞれが持つ特技や知識、技術などを発掘し、これを生涯学習におけるボランティア活動に活かし、学びや楽しさの幅を広げます。

生涯学習が子どもたちの健全育成に果たす役割は大きく、子どもたちの成長に合わせた学習体験の機会を提供します。

〔主要施策と主な事業〕

（1）市民のニーズに応える多様な生涯学習機会を提供します

- 多様な講座や教室を開催し、市民のニーズに応じた生涯学習を充実します。
- 地域の特徴を活かし、公民館同士の連携や世代間の交流を進め、幅広い生涯学習の機会を提供します。
- 読み聞かせなどを行う図書館ボランティアの充実など、公民館や図書館など生涯学習施設の活用を推進します。

■主な事業	○公民館講座の充実 ○図書館・図書室の活用
--------------	--------------------------

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
公民館講座・教室受講者延人数	7,168人/年	8,000人/年	
図書貸出冊数	139,725冊/年	141,000冊/年	

(2) ボランティアの力を活かした生涯学習を推進します

- それぞれの知識や技術を活かした多様な人材を発掘してボランティアとして活躍の機会を拡充します。
- 高齢者の知恵や技術を学ぶなど、ボランティアによる生涯学習の場を、全市的に展開し、生涯学習に触れる機会の拡充を図ります。

■主な事業	○ボランティア人材バンク事業
--------------	----------------

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
ボランティア人材バンクへの登録者数	58人	85人	累 計

(3) 園や学校、家庭、地域、関係機関の連携による子どもたちの育成を図ります

- 乳幼児の段階から青少年育成に至るまで、子どもたちの成長段階に合わせた生涯学習機会を設け、豊かな心を育みます。
- 青少年育成市民会議やふれあい会議などを通して、幼少の頃から、子どもたちや保護者が地域との交流や世代間の交流を深め、地域と連携して子どもたちの育成に努めます。
- 放課後子ども教室など、ボランティアの活動を核に子どもたちの体験活動を充実します。

■主な事業	○行政、民間関係団体のネットワーク化による支援体制の強化 ○青少年育成市民会議を核とした実践活動の充実とその支援 ○地域ボランティアを活用した青少年の体験活動の推進
--------------	--

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
放課後子ども教室参加者数	266人/年	300人/年	

3. 生涯スポーツ

〔現状と課題〕

スポーツを楽しむ、市民同士の交流を広げることは、暮らしを豊かにする活動です。すべての市民が健康の維持・増進を得ることもスポーツの重要な役割であり、参加機会を広く提供することが求められます。

ライフステージに応じた健康づくりや生きがいづくりができる各種事業を充実し、スポーツを通じたコミュニティづくりを推進する必要があります。

また、地域に貢献できるスポーツ指導者の発掘を積極的に進め、指導力向上のための研修機会の充実に努める必要があります。

今後は、スポーツ活動の場を確保するため、既存のスポーツ施設の計画的な整備、充実を推進するとともに、市民のニーズを把握し、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりに努める必要があります。

■スポーツ少年団加入率

単位：％

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
スポーツ少年団加入率	26.8	26.1	24.8	22.6	23.0

資料：社会教育課

■スポーツ施設利用者数

単位：人

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
利用者数	411,003	420,923	444,590	470,396	442,609

資料：社会教育課

〔施策の基本方針〕

スポーツに対する市民のニーズは多様化しています。ニーズを把握し、より多くの市民が参加できるようスポーツ機会の提供や指導者の確保に努め、スポーツの充実を図ります。

スポーツ関連施設については、安全性を確保し、市民が安心して利用できるように適切な維持・管理を行い、有効に活用する方策を検討します。

〔主要施策と主な事業〕

（1）生涯スポーツを充実します

- 各種スポーツ団体の活動に対する支援を継続し、団体間の連携を深めるように努めます。
- ライフステージに応じた健康づくりや生きがいづくりができる各種事業を充実し、スポーツコミュニティづくりを推進します。
- スポーツ指導者の指導力向上を図るための研修機会の充実に努めます。
- 総合型スポーツクラブの活動充実に向けて支援を継続します。

■主な事業

- スポーツ行事の推進
- 総合型スポーツクラブの充実

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
軽スポーツイベントへの参加者数	401人/年	450人/年	
スポーツ指導者登録数 (クラブ、スポーツ少年団)	125人	150人	累計
スポーツ少年団加入率	23.0%	24.6%	団員数÷児童数

(2) スポーツ関連施設の有効活用を図ります

- スポーツ活動の場を確保するため、既存のスポーツ施設の計画的な整備、充実を図るとともに新たなニーズの把握に努めます。

■主な事業	<input type="radio"/> スポーツ施設管理事業
-------	----------------------------------

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
スポーツ施設利用者数	442千人/年	450千人/年	



4. 国際・地域間交流

(現状と課題)

国際交流や地域間交流を行うことは、異なる地域の文化や習慣に触れ、相互に理解を深めることで広い視野を持つことにつながります。

本市では、中学生・高校生を中国とオーストラリアへ派遣し、若い世代の人材育成に取り組んでいます。グローバル化が進展する社会において、青少年の豊かな国際感覚の育成を図っています。

本市は、長年、福井県越前市との交流を継続しています。市民同士で親交を深めることによってそれぞれの地域に貢献する人材育成が求められます。

人々の価値観が多様化する中で、より広い地域との連携や交流によって地域の個性ある自立を広範囲にわたり促進し、今後の社会に役立てることが重要です。

(施策の基本方針)

次世代を担う中学生・高校生には国際感覚を育み、社会に貢献できる人材育成として、国際交流派遣を継続して実施します。

また、これまで相互理解を深めてきた越前市との交流も継続して行い、市民同士のつながりをより強くして地域に貢献する人材育成に努めます。

(主要施策と主な事業)

(1) 国際交流を推進し、国際的視野の広い青少年の育成に努めます

- 中学生・高校生の国際交流派遣を実施し、次世代を担う青少年の国際感覚の育成に努めます。

■主な事業	○青少年海外派遣事業
-------	------------

(2) 地域間交流を推進し、地域同士のつながりを深めます

- 越前市との交流を継続して実施し、さらに緊密な友好関係を築きます。

■主な事業	○友好都市などとの市民相互の交流促進
-------	--------------------

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
越前市・本巣市相互の市民交流参加者数	93人/年	150人/年	



第2節 歴史と文化に学び、未来へ伝えるまち

1. 文化

(現状と課題)

本市には、古くから守られてきた独自の歴史と文化があり、全国に誇るべきものがあります。これらは、将来にわたって保護、継承、育成、活用に努めて、市内外へ広く情報発信する価値があります。

本市を代表する文化財である淡墨桜は、観光資源として広く知られていますが、第一義的にはその保護が重要です。

また、能郷の能・狂言や真桑人形浄瑠璃を始めとする重要無形民俗文化財は、これを伝承する担い手が何より重要ですが、少子高齢化が進む中で担い手の確保や人材育成が課題となっています。

船来山古墳群は、未調査の箇所も多く残っている中、調査が進められているところですが、調査が進むにつれてその歴史的意義や学術的価値の高さが認められつつあります。今後、国の文化財指定へ向けた調査活動やその活用方法の検討などの取り組みが求められます。船来山古墳群の出土品は、隣接する古墳と柿の館で公開するなど、文化財に関する情報発信も行っています。

また、文化財や歴史民俗資料を活用した語りべなどのボランティアも充実していくことが求められます。

本市は世界的数学者・高木貞治博士を輩出していますが、子どもたちの学習や郷土の誇りとしていくことが重要です。



■市の文化財指定状況（H27年現在）

単位：件

	国指定	県指定	市指定
有形文化財	15	9	48
無形民俗文化財	2	2	7
有形民俗文化財	1	1	1
史跡	0	1	9
名勝	0	0	1
天然記念物	3	1	27

資料：社会教育課

〔施策の基本方針〕

船来山古墳群は、国の文化財指定に向けて調査を進め、その価値を解明するとともに保存活動を進めます。広く知られている淡墨桜は、高齢化しているため、注意深く保護します。数々伝わる貴重な文化財は、後継者の確保と育成に努め、伝承活動を促進するとともに教育機関などと連携して活用に向けた取り組みを推進します。

文化財や歴史民俗資料の公開に当たっては、古墳と柿の館での公開や民俗資料館の充実を検討し、語りべなどボランティア活動の充実と合わせて市民への積極的な公開と学習機会を提供します。

優れた数学者・高木貞治博士の功績を顕彰し、次世代を担う子どもたちの学習を支援し、市の誇りとして広く普及を図ります。

〔主要施策と主な事業〕

（1）貴重な文化財を保存し、伝承します

- 淡墨桜は、広く知られた貴重な文化財であり、今後もその保護に努めます。
- 能郷の能・狂言や真桑人形浄瑠璃の重要無形民俗文化財を始め、数々の無形文化財を継承する必要があるため、地域文化の伝承活動を促進します。
- 次世代を担う子どもたちへの、文化財後継者の育成や普及啓発活動の推進を図ります。
- 船来山古墳群の国指定に向けた調査の実施と保存活用を進めます。

■主な事業	○文化財の保存、保護、伝承事業（淡墨桜、船来山古墳群、真桑人形浄瑠璃）
	○文化財保存活用計画の作成
	○船来山古墳群詳細分布調査・保存活用事業

（2）文化財を公開、活用し、広く普及します

- 民俗資料館や古墳と柿の館など、歴史遺産を公開する施設を拠点とし、語りべボランティアの人材育成に努め、公開活動を推進します。
- 民俗資料館の統合を検討し、子どもたちを始め市民が利用し、親しみやすい施設として、活用に努めます。

■主な事業	○民俗資料館活用総合学習推進事業
	○語りべボランティアの育成

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
語りべボランティア数	22人	30人	累計

（3）偉大な先人を顕彰し、市民の誇りと地域への愛着を高めます

- 先人、偉人の調査・研究を進め、教育的な資源として学校教育、生涯学習に役立てるなど活用を図ります。
- 数学者・高木貞治博士の業績を顕彰し、市民の誇りとして展示公開と交流事業を展開します。

■主な事業	○先人、偉人顕彰事業
-------	------------

2. 芸術

〔現状と課題〕

文化・芸術活動に対する市民のニーズは益々多様化しています。それぞれが日常的に文化・芸術や創作活動を楽しむことは、暮らしの質を向上させるための重要な分野です。

また、子どものうちから文化・芸術に触れることで、感性豊かな人間形成に寄与することになり、幅広い世代で文化・芸術に触れる機会の提供が求められます。

〔施策の基本方針〕

多様な文化・芸術に触れる機会を通して市民の暮らしの質を高めるため、自主的に文化芸術や創作活動を行うことができる機会や場を提供し、市民の文化・芸術活動を推進します。既存の文化関連団体に対しての支援も継続して行い、より魅力ある団体活動とします。

また、子どもたちが豊かな感性を育むことができる機会を提供します。

〔主要施策と主な事業〕

（1）暮らしの質を高める文化・芸術活動の普及を図ります

- 市民が文化・芸術や創作活動を日常的に楽しみ、日々の暮らしを豊かにする活動を推進します。
- 文化協会や各保存会、サークルなどの活動を支援し、個性と魅力あるふるさとづくりを推進します。

■主な事業

- 市民参加による文化活動の推進
- 文化関連団体への支援と自主的活動の推進

（2）感性を高める文化・芸術に触れる機会を提供します

- 文化・芸術に触れる機会を提供し、特に子どもたちの豊かな感性を育みます。

■主な事業

- 文化鑑賞事業



第3節 お互いを尊重する心通うまち

1. 人権

(現状と課題)

本市では、基本的な人権が尊重される社会を目指して、人権教育についての普及・啓発を行っています。女性や子ども、障がい者、外国人など、人権をめぐる問題は多岐にわたります。

さらに、近年、国際化、情報化、少子高齢化など社会情勢の変化の中で、インターネットなどによる人権問題も発生し、より複雑化を深めています。

今後、見えないところで発生する人権侵害など、ネット社会に対応する施策も必要であるため、市民生活の変化を把握しながら人権を守る取り組みが求められます。

(施策の基本方針)

人権の尊重は、市民一人ひとりの意識や行動によるものであるため、それぞれが学び、意識をもって行動することが重要です。

人権教育推進計画を策定し、講演会などの学習機会やリーフレットの配布などを行うことによって人権への市民意識の啓発に努めます。

(主要施策と主な事業)

(1) 人権に対する意識を高め、お互いを尊重して生きる環境づくりに努めます

- 人権に対する市民の意識を啓発するため、講演会や講習会を開催するほか、リーフレットの配布などによって日常的な人権への学びを促します。

■主な事業	<ul style="list-style-type: none">○人権教育推進計画の策定○講演会など学習内容の充実や啓発の推進○人権教育リーフレット作成
--------------	--

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
人権教育講演会参加者数	390人/年	430人/年	



2. 男女共同参画

〔現状と課題〕

人口減少社会の到来や少子高齢化対策への対応、雇用形態の多様化など社会情勢が変化する中、男性も女性もその個性と能力を十分に発揮し、ともに責任を分かち合い、さまざまな場面で活躍することができる男女共同参画社会の実現が重要です。本市では、男女がともに参画し、能力が発揮できるまちの実現を目指して、「本巢市男女共同参画プラン」を策定し、意識の变革や女性が活躍する場づくり、家庭と仕事の両立などを目指した取り組みを進めてきました。

今後、男女共同参画に対する理解を深め、女性の社会参画をより推進し、男女ともにそれぞれの能力を発揮し、互いに尊重する社会づくりが一層求められます。

■審議会等における女性の登用率

単位：%

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
女性の登用率	24.9	25.6	26.2	25.6

資料：企画財政課

〔施策の基本方針〕

男女ともに参画して能力を発揮する地域社会の形成のために、「本巢市男女共同参画プラン」に基づいた施策を推進します。男女ともに相互に尊重する意識づくりのもと、各分野への社会参画を推進し、職場や家庭での理解促進に努めます。

〔主要施策と主な事業〕

（1）男女が相互に尊重し合い、女性の社会参画を促します

- 「本巢市男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画社会への意識を醸成します。
- 企業や団体における男女共同参画を促進します。
- 家庭生活と仕事を両立するため、職場や家庭での理解促進に努めます。
- 政策決定の場における男女共同参画を推進します。

■主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本巢市男女共同参画プラン」の策定（第3次） ○ 各種団体、企業などとの連携による意識啓発 ○ 男女共同参画関連講座などの開催 ○ 男女共同参画に関する市民意識調査の実施
-------	--

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
市の審議会などにおける女性委員の登用率	25.6%	30.0%以上	審議会等の女性委員数÷審議会等の総委員数
男女共同参画の満足度	60.2%	70.0%	市民アンケート